

令和7年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:令和7年12月1日(月)

10時00分～11時30分

場所:安威川公民館 講座室2

出席委員: 8名

欠席委員: 1名

事務局: 4名

図書館 : 2名

- 案件 1. 令和7年度第2四半期モニタリング評価結果報告
2. 利用者満足度調査結果報告
3. その他

(1) 令和7年度第2四半期モニタリング評価結果報告

(事務局) — 令和7年度第2四半期モニタリング評価結果について説明 —

(委員) 鳥飼の電子図書館体験イベントが低調、電子図書館の利用は数字が伸びているが、イベントについて分析をしていれば、聞きたい。

アンケートの回答から、鳥飼の年齢層が高いことが要因とも思える。

(図書館) 鳥飼のイベントは、来館した人に声掛けをする方法で集客した。お盆の時期であったことも原因と思える。イベント実施方法を1対多数から1対1の個別相談にできないか検討する。

(委員) 電子図書館について手持ちのスマホで利用したいときに図書館職員に声をかけやすくなるような環境づくりが大切。

(委員) スタッフが「お声掛けください」の目印を身に着けるとかどうか。

(図書館) 「電子図書で隙間時間を埋めませんか」という広告を出し、特に通勤中の時間に使ってもらえればと考えている。

(委員) スタッフによっては得意不得意があるので、つけてもいいよと言うスタッフが付けた方がいいと思う。

(委員) 電子図書館体験会で、タブレットがとても使いやすかったので、いつでも図書館で電子図書が読めるようタブレットの館内貸出はできないか。

(委員) 機器の扱いが分からない人の目線に立って対応していただきたい。

(委員) 電子図書館のタイトルと紙の本のタイトルは同一のものか。電子図書館開始当初はタイトルも少なかったと思うが今はどうか。

(図書館) 紙の本がないものもある。タイトル数は初年度約 700 タイトルで今は約 1800 タイトルある。最近学習参考書を特色として受入している。

(委員) 最近大ヒットしている「国宝」などは予約がいっぱいで読めないなのでぜひ電子

版で入れて予約を分散してほしい。

(委員) 紙の本と電子で同じ予約フォームになれば使いやすくなる。

(委員) 紙の本のサイトで一緒に電子図書も検索できるが、逆に電子図書館サイトからはできない。電子版では読みにくいものをすぐ紙の本で探せるようにしてほしい。

(委員) 図書館システム改修の際に意見を盛り込んでもらいたい。

(委員) 電子図書の本が増えたときに、こんな本が増えましたという宣伝をしているのか。先ほどの参考書とかは学校とかには効果的では。どんな本があるというのが視覚的にわかりやすくなれば、利用が増えると思う。インスタグラム等に掲載してみてもどうか。

(委員) SNS にイベントのことはあるが、本の蔵書のことがあまりない、夏休み前に参考書の告知などすれば効果的なのでは。参考書の内容を見極めるために見てみたいと思っている中高生が図書館を利用する道筋をつけてほしい。

(委員) 図書館イベントで作成したものの持ち帰りについて、以前は持って帰ることができると思っていたが、七夕イベントで持ち帰ることは出来なくなっていた。

(委員) イベントの広報で明記すべきだ。

(委員) 小学校の施設見学は単発のイベントなのか、通年定例で行われているのか。

(図書館) 別府小2年生は毎年6月に、他は単発で実施されている。

(委員) 子ども達が遠方の図書館施設に見学に行ける機会を作ってほしい。

(委員) 学校への働きかけを事務局にはお願いしたい。

(委員) 鳥飼地区では町を知ろうという探検の取組がある。それで施設見学している。

施設見学を恒例行事に入れていくことはいいと思うが、その続きをどうするか。校区外であれば、せっかく施設見学をしても、その後一人で行ってはいけないという話になる。そのことを考えなければならない。セッピー号を運用できるのであれば、こちらとしてもすごくありがたい。

就学前の子がいる保護者に図書館に行くか聞いてみたが、たまに行くと言っていた。読み聞かせも YOUTUBE でやっているという人が多い。

そのため、紙の本の読書量を増やそうとするのは正解とは限らないのではないか。マンガでも、勉強に繋がるマンガなどあればいいと思う。

(図書館) 電子図書館の紹介のために図書館から学校に出向いてもかまわないか。

(委員) できると思う。

(委員) 2年生の施設見学で図書カードを作るのであれば、その3年後カードの有効期限が切れる前の5年生で電子図書館の利用促進をしてはどうか。

- (委員) 入学前説明会で保護者に説明をする機会を作れるかもしれない。
- (委員) 学校内で、玄関など子どもの導線に本を置いてみてもいいと思う。
- (委員) 電子図書館の利用を伸ばすには、図書館カードの発行数を増やす事が先決である。そのうえで、図書館が近い学校は見学に、遠い学校は電子図書館の活用や本の貸出をすすめて、マンガも入れてみてもいいと思う。
- (委員) 鳥飼図書センターで騒いでいる子どもがいたが、注意できなかった。社会のルールを守ってもらうことも必要だし、行き場のない子ども達が夏休みに過ごす場所が必要ともいえるし、けれどそれは図書館だけで担う問題ではないと思う。青少年指導員や少年補導員、民生委員そして学校と、うまく地域で関わっていければと思った。
- (委員) 学童保育で子ども達に本を貸し出すことはできないのか。
- (事務局) 学童保育に本を貸すことは可能。そこから子ども達に貸出をすることは管理の観点から難しいと思える。
- (委員) 子ども達に自由な時間があるのであれば本を見る機会を作ってほしい。

(2) 利用者満足度調査結果報告

- (事務局) ー 利用者満足度調査結果について説明 ー
- (委員) 回答数で10代20代が昨年度からかなり減少している。一方で電子図書館を今後使ってみたいと答えた割合が6割を超えていることから、今後電子図書館に伸びしろがあると言える。
- (委員) 本が詰まっていて取り出しにくいという意見が数件あるが、高齢になると指先の力が弱くて難しいのだと思う。特に料理の本は薄いので出しにくい。
- (図書館) 料理の本は出版点数も多いうえに多彩で、間引くのが難しく書架に詰まりがちになる。鳥飼図書センターでは、アンケートの回答を受けてすぐ対策を進めている。
- (委員) 60代以上の世代でもYoutubeで時間つぶしをしていて思ったよりもスマホの活用をしている。その辺りも考慮してほしい。

(3) その他

- (事務局) モニタリングの個別意見でも出ていた「学習室の問題」について、子ども同士で教え合ったり一緒に勉強をする光景はあってもいいと思う。一方で静かに本を読みたい人もいる。これらの両立の在り方についてご意見を伺いたい。案として、図書館の1階は子どものスペースで話をしたり読み聞かせをしてもよい場所に、2階は静かな場所でここではうるさくすると注意する、3階の空きスペースで学生の自習やちょっとした交流スペースを設けることを考えている。
- (委員) 学習室の利用には図書カードは必要ないのか。主目的は読書推進なのだから

ら利用前に図書カードを確認するようにはどうか。今の運用を変える必要はないと思う。

(委員) スマホで図書カードを表示できるようになるのか。

(事務局) 次回の更新で盛り込むことを検討している。

(委員) 平日の午前中に行ったが、勉強している方もいる。静かなところで勉強したいと思って来ている人もいる。別途で部屋を作るべきではないか。

(委員) ニーズは色々あると思う、ルールを作って階層分けすればよいだろう。

(委員) 名前を控えたりすることで、うるさすぎたら親や学校に連絡することも考えるといい。

(図書館) 他者に迷惑をかける人に対しては、厳しく対応したいと思う。

(委員) 利用する上でのルールを明示しておかなければならない。

(委員) 両館のルールを均一にすべきだ。